



フォトエッセイ

竹林とイノシシ



春爛漫。筍がとっても美味しい時期。筍掘が最盛期です。立花町の竹林へ行くとおじさんが「この竹ば見てんの緑のとこの禿げとろが、これはっさいイノシシが背なかばこすつとるとたい。下が1年目の背丈たい。上が2年目の背丈たい。この禿げば見るとイノシシがどんくらい背の伸びとるか分かるとたい。バッテンこげん禿げるとこの竹は腐れるとたい」と、教えてもらいました。初めて聞くことです。竹林を守る事の難しさを教えてもらいました。八媛会 北島東司郎

老々介護初体験 4

一日三度の病院食は毎回豪華です。患者の体力回復を考えた栄養豊富なメニューです。健康な者が食べても十分満足できます。しかし患者は頑として口を開きません。腹が立つやら、情けないやら……。子どもなら叱って口に放りこむのですが、そうもいきません。思案に暮れていると、隣の付き添いさんが見かねて「ふだんはなんば食べとんなさったか、食べつけとってんとかよかる」とアドバイスされました。そうだ、長くなじんだ味なら舌が覚えているかもしれない。梅干し、漬けもの、玉子焼、のり、カレー、コロッケ、ふりか

け：何でもためしました。すると梅干しと漬けものが一番素直に食べます。病院食は薄味、塩分控えめなど言っておられません。食べるなら何でもよか。梅干しにごはんをまぶすような特別食が始まりました。初めは一日二口、三口でおしまい。それでも三日、四日目になると三口、四口と増えて、「味が薄い、どうもなか」といいつつおかずも少しづつですが自分の歯で確かに食べています。心なしか顔色も生気を取り戻しつつあるようです。こちらも元気が出てきました。

たかお

CMC筑後ミュージカルカンパニー「彼方へ、流れの彼方へ」東京公演への道！！



今回は舞台班が担当します。

この舞台はとても特徴的なつくりになっています

れを描いたものが敷かれています。客席からは、中央の矢部川をはさんで右手に柳川の土手、左手

す。舞台の奥のほうから大きな滑り台のように傾斜していて、その両側に大きな階段があります。中央の傾斜面には、グレーのカーペットに白のペンキで川の流

に久留米の土手を見ているように見えます。この舞台上で繰り広げられる「久留米藩と柳川藩の対立」「武士たちの葛藤」是非ご覧ください！

東京公演
2010年6月20日（日）
THEATRE1010
（東京都足立区・北千住駅直結）
お問合せ 筑後市民ミュージカル実行委員会
0942-541200

“Say what?”



とても晴れた日になりました — 快の入学式の日。朝早く起きて、着付けに行きました。セットして、ネイルまでぬって、準備バッチリで次の15分を待って、小学校へ歩いて行きます。

行く前に快のえんぴつ、全部名前をちゃんと書いたかどうか確認して、快を見ます。快はコンピューターの前に座って、ウルトラマンのビデオをYouTubeで見えています。怪獣の名前をするすら覚えているように算数やら覚えてくれるといいなと思う私。

ちょっと着物がきつく感じ始めたが体育館まで歩かなくちゃ……。さあ、後5分。忘れ物していないかなと不安いっぱい。まあ、なんとかなるでしょう。

そこで私のママのことを考えます。同じ不安、希望を抱いて、私をスクールバスまで送ったでしょうか？この1日ママがアメリカから来てほしかったです。一緒に快を小学校まで送って。アメリカから暖かい気持ち私の心まで感じます。

そこで、ピンポン！あら、近所の方がお祝いを持ってきてくれました。「もう、ほかの人が歩いて行っているよ」と言われ、さー急がなくちゃ。新生活が始まり、始まり！ 伊之坂ミキ



写真 by 杏

命という重さ背負いし蝶や虫
吾子の指さすその先にいる

高山隆子

◆喫茶 奈南
八女市町村会館の周辺はコンビニや喫茶店があり人も多かったのですが移転や閉店、解体等で淋しくなっていました。そんな中で、喫茶奈南がオープンしたので早速出かけよう

行ってみようよ
このお店

◆二健康教室
とき／5月29日（土）14時～15時
ところ／川崎病院 5階第1会議室
テーマ：痛みの治療、講師：松野悟（麻酔科部長）、定員：40名、無料、要予約・連絡先：樋口・石内
0943-2313005

◆日韓交流シンポジウム
とき／5月13日（木）13時～16時
ところ／久留米市えーるピア
講演：崔秉大先生（ナザレ園・芙蓉会顧問）／パネルディスカッション
参加費無料（資料代千円）
主催：NPO車椅子レクダンス普及会
連絡先：黒木
090-8900-9492

◆ひょうたん
季節料理の店「ひょうたん」が5月6日よりラン



ひょうたん

季節料理の店「ひょうたん」が5月6日よりラン

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快な仲間達その他読者を楽しませ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。



0943-22-6108

けました。店内はカウンター、テーブルで軽く30席。別に15名位ゆつくりと座れる個室感覚の部屋も用意され、グループの集いにも利用できます。喫茶メニューが中心ですが11時～2時迄のランチバイキングも好評。産直の野菜中心のヘルシーメニューが常時15皿位並び、取材の日も天ぷら、筍、魚、オムレツ、サラダ類など15皿、味噌汁、カレーなど出ていました。コーヒーがついて830円も納得できます。「割ぼう着がユニホームよ」というママ。「おふくろの味が自慢よ。特に肉じやがを食べてみて」全て家庭の味を漂わせる手作りでした。バイキングは月々金ですがカレー等軽食喫茶等はできるだけお客様に要望に応えます。八女市本村（元八女市町村会館南）営業10時～20時。日曜定休

チサービスを始める。上陽町出身の久木原毅さん（36才）が大阪で約10年、日本料理の修業を積み開店して七年。「子どもが大きくなり少し時間に余裕ができたから」と信子ママは語る。お昼のメニューは日替りランチ500円、ハンバーグランチ700円、チキンカレーセット600円。11時30分～2時迄（日・祝は除く）5時からはお刺身、天ぷら、季節の一品料理を中心とした居酒屋メニューとなる。旬の素材がオーナーの腕で一段とひき立つ。お店はカウンタ1、座敷で20名、2階は40名迄収容の広間。若い人からファミリー迄客層は幅広い。ママの気さくな人柄でお酒と食事がすむと好評。団体様はご予算、飲み放題などご相談に応じます。八女市北平塚。お店は月曜定休。イケダレディスクリニックスを西へ約150m。
0943-22-6108